

(一社)日本惣菜協会「**2020年版 惣菜白書**」6月1日発刊

～惣菜市場規模は前年対比**0.7%増の10兆3,200億円**で**10年連続拡大**～

一般社団法人日本惣菜協会（以下「日本惣菜協会」）は、中食・惣菜業界の国内市場をまとめた「2020年版惣菜白書」を6月1日に発刊する。今回の調査結果（調査対象期間：2019年1月～2019年12月）から算出した惣菜の2019年の市場規模は、前年対比**100.7%の10兆3,200億円**となり2009年より**10年連続で拡大**している。

業態別では、「CVS」が前年比101.7%の3兆3,632億9,000万円、「専門店、他」が98.0%の2兆8,961億6,000万円、「食料品スーパー」が102.2%の2兆7,406億7,500万円で、この3業態合計で87.3%を占める。その他の業態は、「総合スーパー」が101.7%の9,639億1,800万円、「百貨店」が99.0%の3,560億円であり、前年を上回ったのは、総合スーパー、食料品スーパー、CVSとなっている。

業態別構成比の動向では、「食料品スーパー」が0.4ポイント増で26.6%、「CVS」が0.3ポイント増で32.6%、「総合スーパー」が0.1ポイント増の9.3%とシェアを拡大させた。シェアが縮小したのは、0.7ポイント減で28.1%の「専門店、他」、0.1ポイント減で3.4%の「百貨店」となっている。

単位：百万円

業態	2017年		2018年			2019年		
		構成比		構成比	前年比		構成比	前年比
専門店、他	2,920,380	29.0%	2,954,246	28.8%	101.2%	2,896,160	28.1%	98.0%
百貨店	364,392	3.6%	359,631	3.5%	98.7%	356,000	3.4%	99.0%
総合スーパー	921,235	9.2%	948,137	9.2%	102.9%	963,918	9.3%	101.7%
食料品スーパー	2,620,596	26.1%	2,682,414	26.2%	102.4%	2,740,675	26.6%	102.2%
CVS	3,228,956	32.1%	3,307,416	32.3%	102.4%	3,363,290	32.6%	101.7%
合計	10,055,560	100.0%	10,251,844	100.0%	102.0%	10,320,043	100.0%	100.7%

- ※ 商業統計の業態定義を参考にして業態区分を行った。ただし、総合スーパー、衣料品スーパー、住関連スーパー、その他スーパーは一括りにした。
- ※ 百貨店は、日本百貨店協会から公表されている惣菜販売額の数値を採用した（テナント販売額が含まれる）。そのため、百貨店テナント販売額分は、「専門店、他」から差し引いている。

News & Information

<一部内容のご紹介>

消費者の動向をみると、半年間で3回以上購入した商品として、唐揚げが3年間で4.9ポイント、焼き鳥が8.3ポイント高くなった。イベントやメディアでの露出の影響もあり、商品開発が進みバリエーションが増えたことや、鶏肉メニューが持つヘルシーイメージが要因と考えられる。逆に、おにぎりは昨年から1.7ポイント、サンドイッチも3.9ポイント減った。「糖質」に対する削減意識の高まりがうかがわれる結果となった。前述の恵方巻に関しては一部消費者の買い控えもあり、昨年と比べて関東では0.5ポイント、関西では4.1ポイントそれぞれ低下した。

本白書が対象とする惣菜を「狭義」とすれば、「広義」の惣菜にも目を向けなければならない。総務省の家計調査(2人以上世帯)によると、2019年の調理食品の支出は4.4%増。白書では調理冷凍食品とレトルト食品は市場規模算出から除外している。調理凍食品の品ぞろえを食品スーパーだけでなく、最近では大手コンビニエンスストア各社もこぞって強化している。日本冷凍食品協会が発表した2019年の冷凍食品国内生産量は前年比0.6%増で、過去最高を記録した2017年以来2年ぶりのプラス。うち家庭用は1.0%増だった。前述の外食業界の持ち帰りやデリバリーの伸びも加味すれば、「中食」市場の拡大は0.7%よりも高く見てもよいだろう。

「2020年版惣菜白書から惣菜市场を読む」より抜粋

半年間で3回以上購入した惣菜のベスト10（首都圏女性）

順位	惣菜名	'17年	'18年	'19年	今回
1位	弁当	47.1%	51.0%	50.9%	52.6%
2位	おにぎり	45.1%	48.0%	52.7%	51.0%
3位	コロッケ	38.4%	41.2%	41.8%	41.4%
4位	鶏の唐揚げ	33.7%	35.5%	39.1%	40.4%
5位	サンドイッチ	39.5%	41.2%	43.7%	39.8%
6位	にぎり寿司、巻寿司	33.9%	34.6%	40.3%	39.8%
7位	野菜サラダ	29.7%	36.3%	38.7%	36.7%
8位	うどん、そば、ラーメン	23.0%	23.3%	27.9%	28.2%
8位	焼とり	19.9%	23.1%	25.1%	28.2%
10位	ギョーザ	24.4%	25.3%	25.5%	28.1%

News & Information

「2020年版 惣菜白書」

掲載内容：

第1章 惣菜市場の動向

第2章 消費者の動向

価格（送料・税込）：

◆日本惣菜協会の会員・賛助会員・協力会員
惣菜管理士・学校関係者・協会教育事業受講者 **3,000円**
※日本惣菜協会の会員・賛助会員へは各社1冊無償配布

◆一般企業・個人 **5,000円**



◇◇惣菜白書とは◇◇

「惣菜白書」は、惣菜の市場動向・消費者動向・参考資料の構成からなる惣菜に関する業界唯一の統計資料として毎年発刊し、本年で16年目を迎える。2020年版では、惣菜専門店をはじめ百貨店やスーパー・CVSなど68,033店（100社）の小売店における販売動向の調査を実施した。また、消費者調査は、2020年2月12日～2020年2月17日の期間、首都圏、近畿圏、中国・四国圏、北陸圏の4エリアで実施。首都圏1,552サンプル、近畿圏1,554サンプル、中国・四国圏1,315サンプル、北陸圏789サンプルで調査を行った。

購入者の皆様からは、「惣菜市場の動向把握」や「提案資料の裏付け」、「メニュー開発」に役立つとのことをお声を頂き、各企業で継続的にご活用頂いている。

今後、「惣菜白書」が中食・惣菜産業のさらなる発展のために、各企業の成長に役立つ指針となることを期待している。

※この件に関する問い合わせ先

一般社団法人 日本惣菜協会 担当：田中・白壁までお願い致します。

TEL：03-3263-0957 FAX：03-3263-1325 E-mail：souzai-info@nsouzai-kyoukai.or.jp